

ドライブレコーダを利用した 運転分析に関する研究

逆煽り運転、煽り運転誘発

平石研究室 S17024 和泉 龍成

はじめに

- 近年煽り運転による被害が拡大しているので、ドライブレコーダを使用し運転者の操作を分析する、それにより被害を減少させながら同時に運転者の運転技術や運転操作に慢心やミスなどがいないかなどを解析できるのではないかと思い本研究を始めた。
- 今回ドライブレコーダを利用して様々な運転者の運転状況を収集し、煽り運転のきっかけになる要因を分析した。

今回利用したドライブレコーダー

バイク用



フロント



リア

フロント：VSYSTO ドライブレコーダー
リア：YM08 ドライブレコーダー

車用



車用：パイオニア VREC-DH300D

ドライブレコーダーの運転分析

- 休日の運転データ
 - 走行距離 約720km (80km x 12日) 約1000時間
- 平日の通勤時間 (8時から9時)
 - 走行距離 約1200km (40km x 30日) 約1800時間
- 平日の帰宅時間 (17時から18時0)
 - 走行距離 約1200km (40km x 30日) 約1800時間

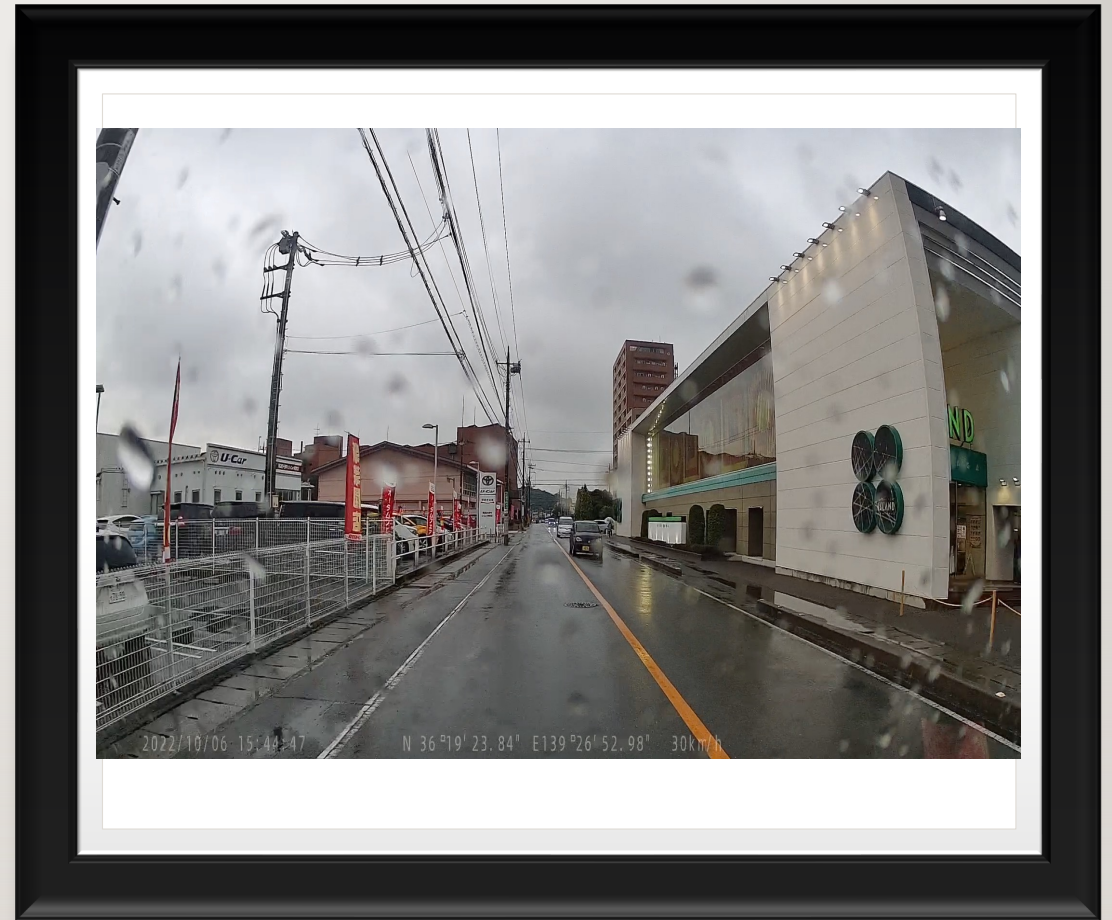
マナー違反

事前にウィンカーを出して
停止車両を避けたが対向車
がなぜか加速をして正面衝
突しかけた



確認不足

確認不足により車両を進めた為
急ブレーキを使用した



確認不足

信号が青になった為そのまま交
差点に侵入したが右折してきた
車と衝突しかけた



割り込み&ノー ウィンカー

右から来たセダンが割り込みを
してそのままノーウィンカーで
車線変更



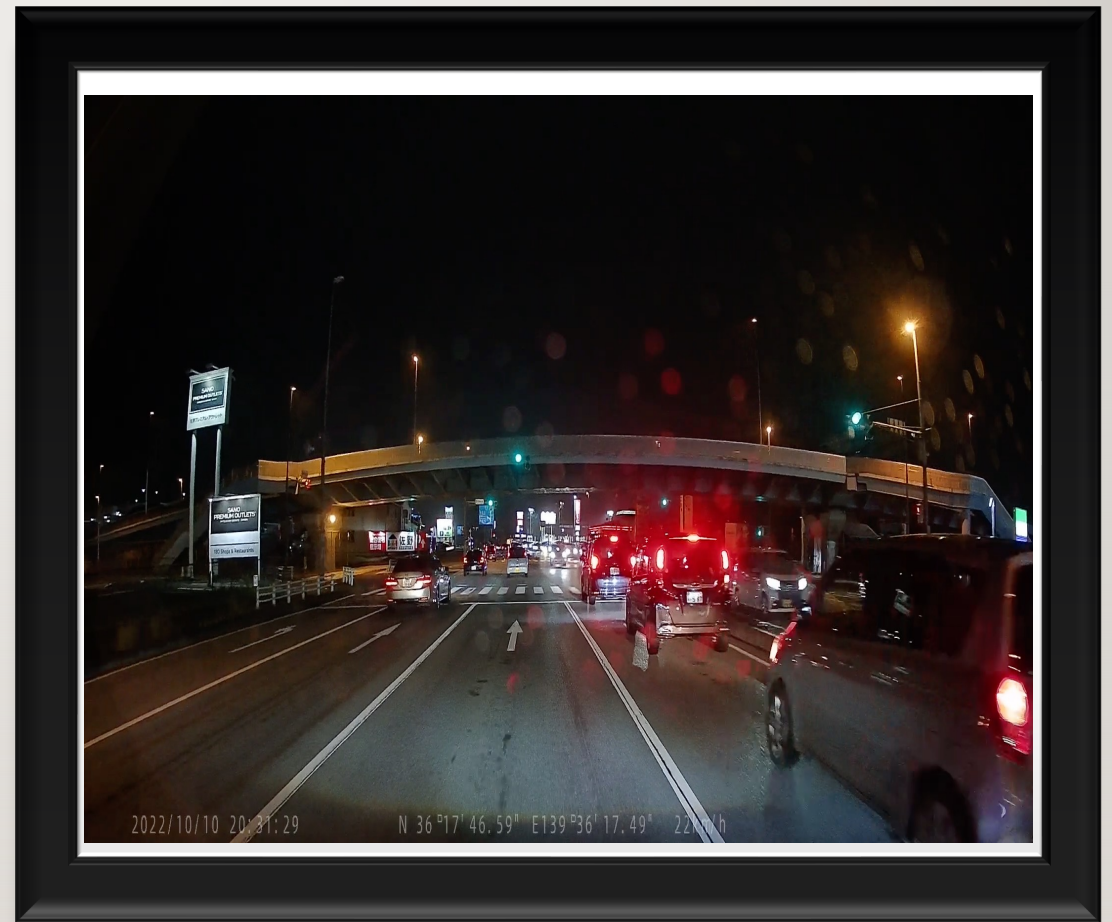
運転技術不足

右側のセダンが何も無い直線道路で加減速を繰り返す



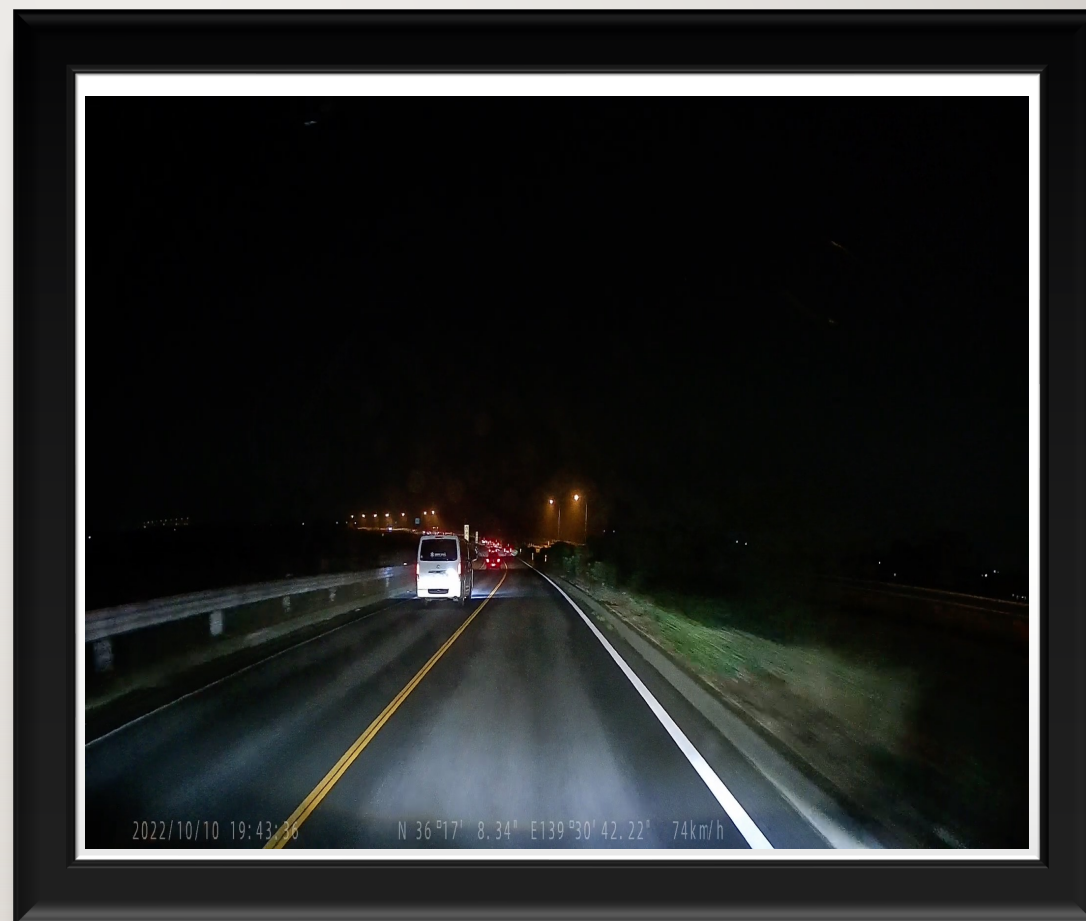
確認不足

セダンが謎のブレーキをした為
コンパクトカーが急な車線変更
で割り込みを行った



交通違反煽り運転

イエローラインが敷かれている
場所でラインカットその後謎ブ
レーキをし前の車がいるので加
速できない前車に車間距離不足



煽り運転を誘発するような事例

- 運転技術不足
 - のろのろ運転、蛇行運転、 unnecessary ブレーキ
- 確認不足
 - よそ見運転、慢心運転、安全確認不足、急な割り込み
- マナー違反
 - 自分勝手な運転、急な割り込み
- 交通ルール違反
 - 一時不停止、信号無視、黄色車線のラインカット、車間距離保持不足
- 煽り運転
 - 車間距離保持不足、無理な追い越し

データの統計

分類	通勤	帰宅	休日
運転技術不足	67(47.9%)	26(46.4%)	55(44%)
確認不足	32(22.9%)	11(19.6%)	15(12%)
マナー違反	22(15.7%)	11(19.6%)	34(27.2%)
交通ルール違反	15(10.7%)	8(14.3%)	8(6.4%)
煽り運転	4(2.9%)	0(0%)	13(10.4%)
合計	149(100%)	56(100%)	125(100%)

統計からの考察

- 通勤と帰宅では通勤時の方が交通量が多い為データ量が多い。
- 帰宅時の方がマナー違反や交通ルール違反の割合が多い。仕事終わりの運転者の帰宅意識が高くなるので運転が荒くなる物と考えられる。
- 休日は普段あまり運転しない層が路上に出てくるのでマナー違反が多くなる傾向にある。それと同時に早く目的地につきたい心境により煽り運転も上昇傾向にあった。
- 通勤時も帰宅時も休日も、運転技能不足が大半を占めていた。

まとめ

近年煽り運転が増えているが、記録した動画の通り知らず知らずのうちに周りの車にストレスや危害を加えている場合がある。

急に煽り運転や危険運転する運転者もいるが、実際は上記のような危険運転が逆に煽り運転を誘発し煽られ運転になってしまう場合がある。

道路は自分一人の物ではないので早い車が来たら譲る、安全な速度域で加速し速度を合わせるなど、心がけることで被害がもっと少なくなると考察する